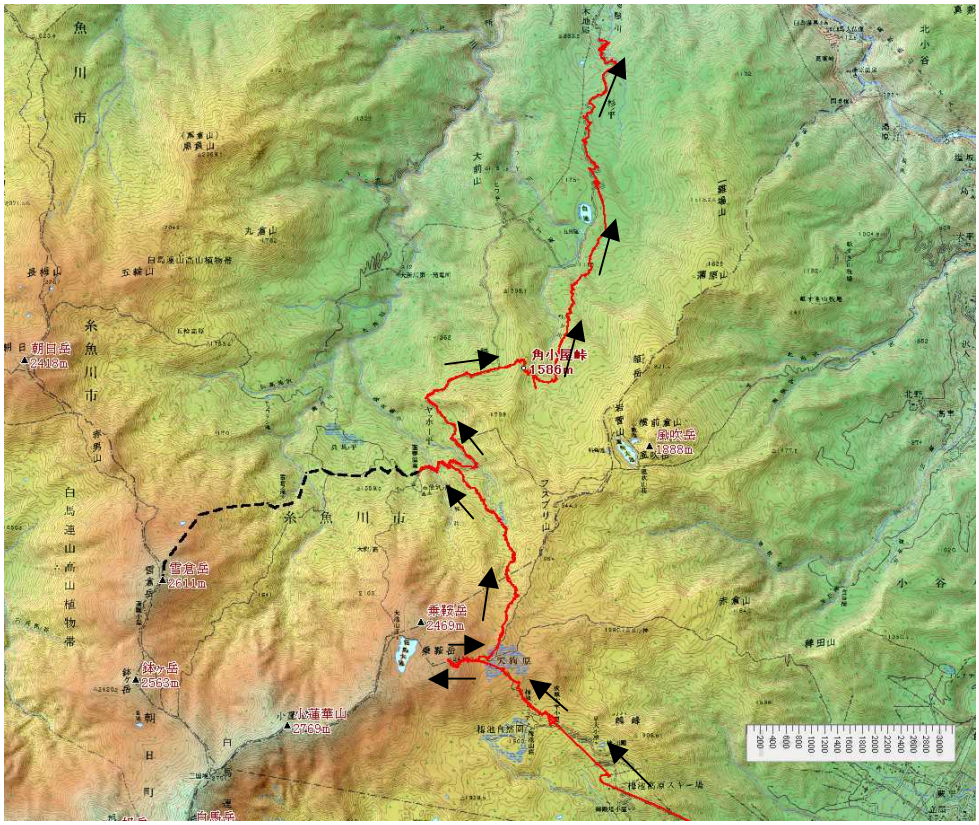
山 行 報 告 書

作成：2007 年 4 月 12 日
愛知岳連　岡崎山岳会

山名[山域]	白馬乗鞍(1564m)～蓮華温泉	目的[方法]	山スキーツアー
期間	2007 年 4 月 7 日 (土) ～8 (日)	形態	前夜発小屋泊 1 泊 2 日
参加人数	6 人		

行動記録：　◇4/6(金)　岩津市民 P (20：00) ＝＝豊田東 IC＝＝豊科 IC＝＝小谷道の駅 (0:30) テント仮眠
4/7 (土) 晴　起床 (5：40) ＝＝木地屋集落に配車＝＝栂池スキー場 (8：00、8：30) ＋＋栂池自然園 (9：30) ---スキー----天狗原乗越 (11：20) ---白馬乗鞍▲---天狗原乗越 (13：30、14：00) ----振子沢---蓮華温泉 (16：00)
4/8 (日) 晴　起床 (5：30) ♨・朝食 (8：00) ---スキー---角小屋峠登り口 (10：00) ---角小屋峠 (10：20,10：45) ----わさび沢---木地屋集落林道　P (13：00,13：30) ＝＝栂池スキー場　P (14：00,14：30) ＝＝白馬♨・食事 (15：00、16：50) ＝＝豊科 IC＝＝豊田東 IC＝＝岩津市民 P (20：40)

概念図：
栂池ロープウェイ～天狗原～白馬乗鞍▲～振子沢～蓮華♨～角小屋峠～わさび沢～木地屋集落 P



日誌：
4/6 (金) 好天を確信して 20 時出発、約 4 時間で小谷道の駅着、テントおよび車で仮眠。国道沿いなので交通量が多くやかましい。4/7 (土) 冷え込んだお陰で晴天。I さんの車がパンクしていたハプニングもあったが無事木地屋に 1 台配車し栂池スキー場へ。ロープウェイで上の駅まで行き、ツアー開始。先週の下見が功を奏し、順調に天狗原への急登をこなす。ここで白馬乗鞍への登山を決定し、スキーアイゼンも着けて登り出すが、S だけはスキー技術の問題から途中までとし、斜滑降 (？) キックターン (？) で苦労して降りる。他の 5 名は喜びの登頂を果たす。

全員集合していよいよ振子沢に下る地点にヘリポートがあり、所要約 5 分 1 万円でスキー客を輸送している。振子沢はしょっぱなから急下降でビビッテしまう。まったくゲレンデとは違い歯が立たない。S のあまりの転びようを見かねて他のメンバーが荷物を分け持ってくれ、ようやく何とか様になってきた頃、予定時間を 1 時間オーバーして小雪が舞う中やっと蓮華温泉着。ここの客は全て山スキーヤーで、50 人くらいは居る。翌 4/8 (日) とにかく滑って降りなければ、ここで春までバイトの羽目になってしまう。朝湯・朝食を済ませ、8 時出発。始めは少し登り気味の林道をスキーを担いで歩き、細いトレースを外さないよう角小屋峠登り口まで滑る。急登 20 分、大展望の峠で大休止。ここから急下降、サッサと降りる仲間の後をズルズルとやっとのことで降りる。やれやれと思う間もなく昨日のような沢沿いの急傾斜を落ちないように気を使いながら滑ること約 1 時間。またもや皆に荷物を持ってもらい、傾斜も緩んできたので、あまり転ばないようになり、やれやれ林道に出て一安心。ここからは全員快調に滑り何とか無事木地屋集落 P に到着。雪倉の雄大な雪景色を背にして降り、ここは雪も溶け蕗のとうが顔を出す里の春だ。栂池に車を回収に行き、隣の白馬で♨・食事を済ませ、岩津市民ホーム P20 時 40 分着、解散。

感想：
天国のようなコースと喜んでいる仲間を尻目に、わたしは「天国に行きそうなコース」とひやひやものでした。自分の技量にあった山行をしなければと反省しきりです